

欧州経済：ドイツ総選挙は CDU/CSU が勝利、債務ブレーキ見直しが今後の焦点に

2月23日のドイツ連邦議会選挙の結果、シュルツ首相率いる社会民主党は第三党に転落し、中道右派のキリスト教民主・社会同盟が第一党に返り咲いた。また、移民問題への関心の高まりを背景に、極右政党「ドイツのための選択肢」が第二党に躍進。一方、昨年11月の連立解消まで与党の一角を担った自由民主党の得票率は議席獲得のための最低ラインである5%に届かず、議席を失った。

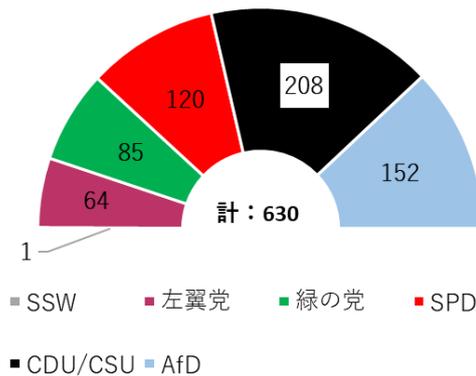
CDU/CSU の獲得議席数は過半数に届かなかったため、SPD との大連立が有力視されるが、連立交渉は難航する見込み。新政権の喫緊の課題は2025年度予算の成立であり、債務ブレーキ見直しの有無が焦点に。そのほか、移民政策は厳格化、安全保障政策では防衛費の増額、環境政策では市場原理を重視する方向転換が見られる可能性。

ドイツ連邦議会選挙で中道右派の CDU/CSU が勝利、極右も議席を大幅に拡大

ドイツで2月23日に実施された連邦議会選挙の結果（暫定値）、メルケル元首相が所属していた中道右派「キリスト教民主・社会同盟（CDU/CSU）」が208議席を獲得し、第一党に返り咲いた（右図）。一方、シュルツ首相率いる中道左派「社会民主党（SPD）」は120議席と、前回の2021年選挙時（206議席）から大幅に議席数を減らし、第三党に転落した。また、昨年11月の連立解消まで与党の一角を担った「自由民主党（FDP）」と新興左派の「ザーラ・ワーゲンクネヒト同盟（BSW）」の得票率は議席獲得のための最低ラインである5%に届かず、議席を失った。

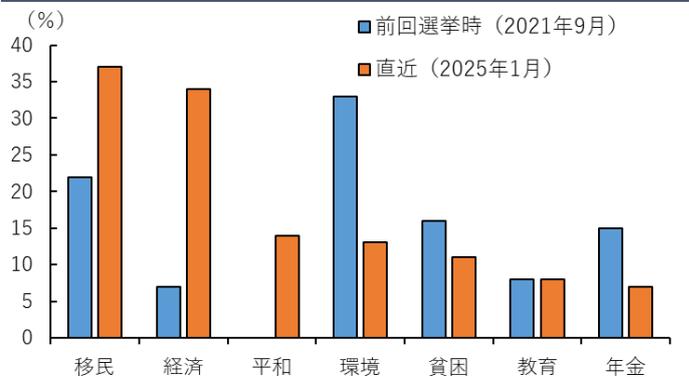
今回の選挙で躍進したのは、極右政党「ドイツのための選択肢（AfD）」だ。獲得議席数は152と、前回（83）から大幅に数を伸ばし、第二党に躍り出た。背景にあるのは、移民問題への関心の高まりだ。世論調査によると、移民や難民によるテロ行為が頻発していることもあり、移民問題を重要視するドイツ国民の割合は前回選挙時から大幅に増加している（右図）。また、コロナ禍以降の物価上昇による生活苦やドイツ経済の低迷から、経済をより重視する一方で環境への優先度が低下

ドイツ連邦議会選挙の結果（暫定値）



（出所）ドイツ連邦選挙管理委員会

ドイツ国民が重要視する課題



（出所）infratest dimap

（注）「最も重要」と「二番目に重要」の合計値。

している。こうした国民の意識の変化が、「反移民、反環境、自国優先」を唱える AfD の支持拡大につながった。

大連立政権樹立が有力視されるも、連立交渉は長期化する可能性

CDU/CSU の獲得議席数は過半数に達していないため、今後 CDU のメルツ党首は連立相手を模索することになる。メルツ氏は、開票中に生放送されたテレビ討論会で、連立相手は 1 党にとどめたい考えを表明した。CDU をはじめとしたドイツの主要政党は極右政党 AfD との協力を明確に否定しており、AfD の政権入りは考え難い。したがって、過半数に到達しうる組み合わせは実質的に SPD との「大連立」のみとなる。

ドイツでは連立交渉が難航することが多い。前政権の成立時には 2 か月以上、2018 年の大連立成立時には約半年もの時間を要した。今回も、中道右派の CDU/CSU と中道左派の SPD の政策の方向性の違いや、SPD がジュニアパートナーに甘んじるかどうかという問題が存在する。また、今後の連立交渉の動向次第では、緑の党を加えた 3 党連立が必要になる可能性もある。メルツ氏は 4 月 20 日のイースターまでに組閣したい考えだが、連立交渉が長引くことでドイツの政治的空白期間が長期化するおそれがある。

政権樹立後は債務ブレーキの見直しの有無が注目点

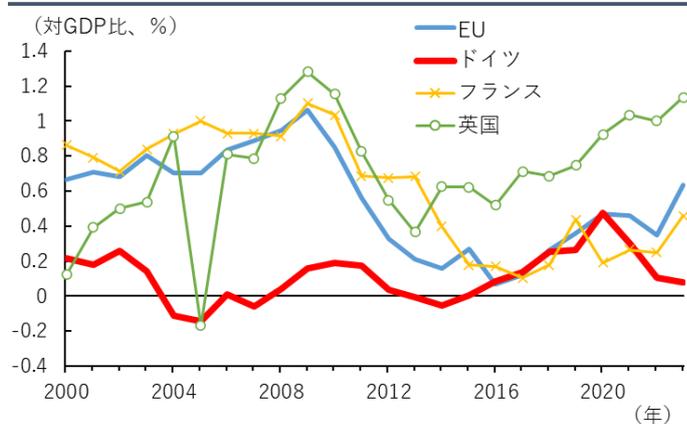
どのような連立の組み合わせになったとしても、新政権の目下の課題は暫定のままとされている 2025 年度予算の成立だ。

そもそも、今回解散総選挙を実施するに至った主因は、2025 年度予算における財政赤字の扱いを巡る連立政権内での対立が深刻化し、予算成立が見通せない状況になったことだ。ドイツでは、新規国債発行による借り入れ（財政赤字）に関する非常に厳格な規定（債務ブレーキ）が基本法（憲法）によって定められている。これは、コロナ禍のような非常事態を除き、財政赤字を対名目 GDP 比で▲0.35%以内に抑えなければならないとするものであり、同比率が▲3%を超えると是正措置の対象となる EU の財政ルールよりもはるかに厳しい基準だ。

債務ブレーキはコロナ禍の影響で 2020 年に一時停止されていたが、24 年から適用が再開された。24 年度予算編成時は、連邦憲法裁判所による一部予算の違憲判決などもあり、予算成立が 24 年 2 月にずれ込みはしたものの、エネルギー補助金の削減などによって財政赤字基準を辛うじて達成した。

2025 年度予算を巡っては、SPD のショルツ氏がウクライナへの追加支援やトランプ大統領の再選に伴う保護主義の高まりなどを理由とした債務ブレーキの再停止を主張したものの、財政規律を重視する FDP のリントナー氏がこれを頑なに拒否し、連立解消・解散総選挙につながった。

欧州主要国の純公的固定資本形成



(出所) 欧州委員会、伊藤忠総研

CDU/CSU を中心とした新政権の樹立後は、2025 年度成立に向けて債務ブレーキの扱いに関する議論が再び活発化するだろう。ドイツ経済は 2 年連続でマイナス成長に陥るといふ苦境に立たされているが、その要因の一つとしてこの厳しすぎる財政ルールがしばしば指摘されてきた。実際に、ドイツの資本減耗分を除いた純公的固定資本形成は、近年ほとんどの期間で EU 平均を下回っているだけでなく、マイナスとなっている期間もあるなど、十分な公共投資が行われてこなかったことが見て取れる（前頁右下図）。

CDU は債務ブレーキという制度自体は堅持する方針だが、党首のメルツ氏は目的を限定した形での制度の見直しには前向きな発言をしている。とりわけ重要な項目としては、上述の社会インフラへの投資に加え、ウクライナ危機やトランプ第 2 次政権下で喫緊の課題となっている防衛支出だ。

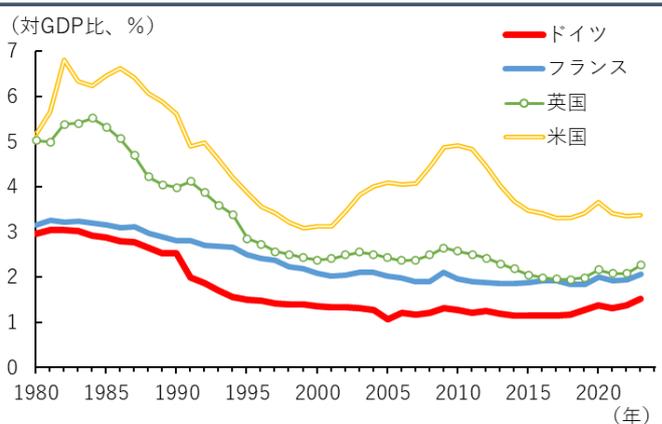
ドイツの対 GDP 比での防衛支出は他の欧米主要国と比較しても低く、北大西洋条約機構（NATO）の目標水準である 2% を下回って推移してきた（右図）。ドイツ政府の発表によれば、2024 年は防衛予算増額のための特別基金を活用したことで 2% 目標を達成したとされているが、同基金は 28 年に期限が切れる。また、トランプ米大統領は NATO 加盟国に防衛費を対 GDP 比で 5% に引き上げるよう要求しているほか、NATO のルッテ事務総長も加盟国に対し目標の引き上げを求めている。継続的な防衛支出の拡大のためには、債務ブレーキの見直しは避けて通れない。

なお、2 月入り後、欧州各国が防衛支出を拡大することで財政運営を圧迫するとの見方から、長期金利が上昇する場面が見られた（右図）。しかし、ことドイツに限って言えば、こうした財政懸念は行き過ぎだと筆者はみている。欧州委員会の財政収支予測をもとに試算すると、ドイツは財政赤字を対 GDP 比で▲1.5% 程度まで拡大しても債務残高を対 GDP 比で縮小していくことができる¹。財政の健全性を保ったままでも、債務ブレーキの見直し余地は十分にあると言えるだろう。

移民政策は厳格化、ウクライナ支援体制は変わらず、環境政策は方向転換の可能性

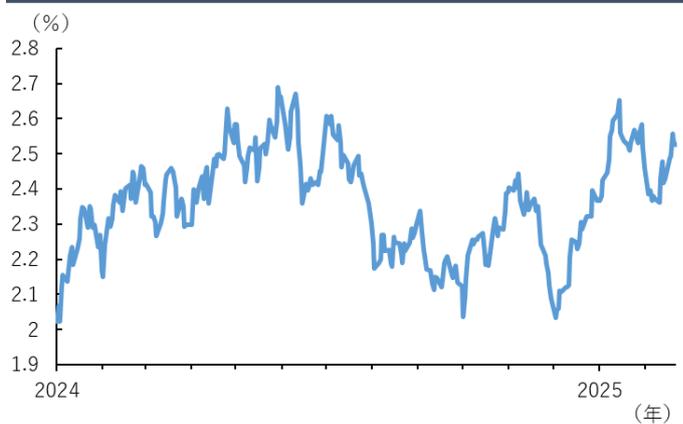
その他の主要な政策については、以下のような方向性になるとみている。

欧米主要国の防衛支出



(出所) World Bank

ドイツ10年国債利回り



(出所) Bloomberg L.P.

¹ 欧州委員会の最新の経済予測（“European Economic Forecast, Autumn 2024”）における名目 GDP や財政収支見通しを前提に、財政赤字のみを拡大したときの債務残高対 GDP 比の動きを簡易的に試算したもの。

極右躍進の背景ともなった移民・難民問題に関しては、関連政策の厳格化が進む公算が大きい。CDU/CSU はすでに、ドイツ南部で発生したアフガン出身者による刃物銃撃事件などを受け、移民規制を厳格化する法案を総選挙前の1月に連邦議会に提出しており、そのスタンスは明らかだ。この法案は1月31日に否決済みだが、今後同様の法案が提出・可決される可能性が高い。

安全保障政策関連では、上述の通り、防衛費の対GDP比を少なくとも2%程度の水準で維持していくことを目指すだろう。ウクライナ支援については、CDU/CSU、SPD、緑の党ともに継続の立場であるため、ドイツとしての支援体制は変わらない公算が大きい。また、この3党は米国と連携した中国政策の推進や、日本などとの連携を通じたインド太平洋地域における存在感の強化といった方向性でも概ね一致している。

環境政策については一部で方向転換が行われる可能性がある。CDU/CSU は2045年の気候中立目標は維持しつつも、その手段としては市場原理に基づく技術的中立性を重視するとしている。具体的には、2035年以降の内燃機関車販売禁止方針の撤回や原子力発電の利用再開を主張している。SPD や緑の党は環境保護推進派のため連立政権内の調整は難航する可能性があるものの、今回第二党に躍り出たAfD はあらゆる環境保護政策を否定しているため、環境保護を緩めるような法案が議会に提出されれば可決される見込みは十分にあるだろう。